

ページ	施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	質問・意見	回答担当課	回答	備考
4	(2) 充実した学校教育の推進	エ 地域に根ざした教育の推進	(ウ) 学校支援ボランティア事業の推進	生涯学習課	<b>質問・意見1</b> お花いっぱい運動(直植えやプランター)、空き缶拾いなど実際に体験させては・楽しく遊び心で(幼児、小学生低学年)	生涯学習課	花いっぱい運動や空き缶拾いなどの活動については、地域の子ども会活動として体験しており、ボランティア活動の推進を図っています。	
		オ ボランティア活動の推進	(ア) ボランティア体験の実施	学校教育課		学校では、高齢者施設やデイサービスへの訪問、花いっぱい運動、学校周辺の清掃活動、アルミ缶集め等の活動を行っています。今後も子どもが地域の人・もの・環境等に働きかけ、実際に体験する活動を大切にしたいボランティア活動をすすめていきます。		

ページ	施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	質問・意見	回答担当課	回答	備考
4	(2) 学校教育の充実	カ 学社融合の推進	(ア) 地域で行う文化・スポーツ・ボランティア活動などを組み込んだ学校教育プログラムの開発	学校教育課	<b>質問・意見2</b> 芭蕉ゆかりの伊賀の地なので、10/12芭蕉祭に向けた献詠俳句の(募集だけの俳句づくり)取り組みだけでなく、通年(年数回でも)俳句に関する授業も取り入れてはどうでしょうか。(昨年より第三土曜日が登校授業日のため)大体1時限目が読書や読み聞かせに充てておられますが、又、第三土曜日を年に数回子ども公民館活動にも充てられてはどうでしょうか。(学童のための)	学校教育課	ある小学校では春と秋に吟行を行い、地域の俳句サークルの方に指導をいただきながら、校外に出て俳句づくりに取り組んでいます。11月第3土曜日に校内しぐれ忌を行い、吟行でお世話になった方を招いて表彰を行い、指導講評を受けています。「芭蕉さん委員会」があり、みんなで俳句をつくるイベント等を企画運営し、年間を通して活動しています。中学校では、3年生が使用している教科書には、「おくの細道」が教材としてあり、優れた古文の表現や文体の特徴に着目しながら、作品を読み深めています。子ども達が年間を通して芭蕉さんについて学べるよう教材づくりを行います。	
				文化交流課		文化交流課	毎年、芭蕉翁顕彰会において、8月19日のハイクの日に合わせて、子ども向けの俳句イベントを募集型にて開催しています。更に、もっと多くの子ども達に俳句の楽しさを知ってもらえるよう、各学校や教育委員会に対し、俳句に関する授業を取り入れてもらえるよう働き掛けを行います。	

上記の関連項目

31	(1) 保護と継承史の推進	エ 芭蕉を核とした地域づくりの推進	(ア) 芭蕉祭の開催 (イ) しぐれ忌の開催 (ウ) 奥の細道サミット開催 (エ) 俳句のくにづくり拠点施設(仮称)の建設 (オ) 芭蕉翁を核とした交流施設の整備	文化交流課	芭蕉ゆかりの伊賀の地なので、10/12芭蕉祭に向けた献詠俳句の(募集だけの俳句づくり)取り組みだけでなく、通年(年数回でも)俳句に関する授業も取り入れてはどうでしょうか。	文化交流課	子ども達に俳句づくりの楽しさや興味をもってもらえるよう、各学校や教育委員会に対し、俳句に関する授業を取り入れてもらえるよう働き掛けを行います。	P4関連
33	(2) 活動の推進	イ 文化・芸術活動のサークル・組織の交流の推進	(ウ) 文化・芸術活動のサークル・組織の交流の推進	生涯学習課	(昨年より第三土曜日が登校授業日のため)大体1時限目が読書や読み聞かせに充てておられますが、又、第三土曜日を年に数回子ども公民館活動にも充てられてはどうでしょうか。	生涯学習課	平成27年度から実施している第3土曜授業は、教育活動の充実と学校、家庭、地域との連携した教育活動を進めることがねらいです。1限目は読書の時間、2限目は自分自身で学習する力を身につける時間、3限目は学校と、保護者・地域住民が連携した教育活動の時間としています。特に、3限目は地域と連携した学びを求める授業であることから、次年度以降に向けて学校教育課と検討したいと考えます。	P4関連
33	(2) 活動の推進	ウ 子どもが文化・芸術に親しむ場づくり	(イ) 子どもを対象とした公民館講座の開催	生涯学習課				P4関連

ページ	施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	質問・意見	回答担当課	回答	備考
5	(3) 習得・知識・向上・教養の	イ公民館講座・教室などの充実	(ア)公民館講座・教室の開催	生涯学習課	<b>質問・意見3</b> 初心者向きの俳句公民館講座を開催されてはどうでしょうか。(一般のための)	生涯学習課	芭蕉翁顕彰会でも開催されていますので、文化交流課とも調整し、限られた予算の中で実施可能か検討したいと考えます。	
5	(3) の 習得・知識・向上・教養	イ公民館講座・教室などの充実	(イ)各種講演会の開催	生涯学習課	<b>質問・意見4</b> 吟行も取り入れて俳句に親しむのもいいのでは	生涯学習課	芭蕉翁顕彰会でも開催されていますので、文化交流課とも調整し、限られた予算の中で実施可能か検討したいと考えます。	
5	(3) 習得・知識・向上・教養の	イ公民館講座・教室などの充実	(ウ)公民館講座・教室の開催日時などの見直し	生涯学習課	<b>質問・意見5</b> 通年教室として、初心者講座がないのは芭蕉生誕の地なのに残念に思います。	生涯学習課	芭蕉翁顕彰会でも開催されていますので、文化交流課とも調整し、限られた予算の中で実施可能か検討したいと考えます。 現在、放課後子ども教室の活動の一環として、小学生を対象とした俳句づくりをしている地域もあり、全国大会で入賞するなど活動の成果が見られます。	
5	(3) 知識・教養の習得・向上	イ公民館講座・教室などの充実	(オ)出前講座の開催	商工労働課	<b>質問・意見6</b> 出前講座の手続きをもっと簡単にしてほしいです。依頼文を書いてお誘い文を書いて申請手続きに日を取られるのもっと楽に出前講座を開催できるようにしてほしいです。	広聴情報課	【商工労働課】 大学等の協賛で学校への出前講座を開催していますが、手続きについては大学となります。 【広聴情報課】出前講座の申し込みをいただいた際には、各担当課に対して受付票(任意のものでも可)を提出いただいています。これは実際に出前講座を行うために必要な連絡先や日程などを確認するための必要最小限の書類です。 また、職員を派遣するための日程調整が必要ですので、その場で手続きが完了する場合と、数日いただかなければいけない場合があります。いずれも省略することのできない手続きですのでご了承くださいと考えております。	
7	(3) 習得・知識・向上・教養の	ウあらゆる提供主体との連携	(オ)民間事業者との協働	生涯学習課	<b>質問・意見7</b> 芭蕉翁顕彰会の方や俳句誌「年輪」や「山繭」などの会員の方を講師に招いたらいかがでしょうか。中級者向き、上級者向き俳句会は、各サークルで活動されている様です。	生涯学習課	上野公民館分館において「年輪俳句会」や「山繭上野俳句会」などのサークル活動や生涯学習センターにおいても俳句サークルの活動が行われています。芭蕉翁顕彰会でも開催されていますので、文化交流課とも調整し、公民館講座として開催する際には限られた予算の中で実施可能か検討したいと考えます。	

【資料】伊賀市生涯学習推進大綱後期基本計画 平成28年度計画に関する質問・意見一覧表

ページ	施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	質問・意見	回答担当課	回答	備考
15	(1) サークル・団体の活動支援	イ サークル・団体間の連携支援	(ウ) サークル・団体に関する情報誌の発行	スポーツ振興課	<b>質問・意見8</b> 「スポーツ忍」の発行を単独でなく、今は中止されている「すこやか便り」(健康の駅長の活動紙)との合同で発行されてはどうか。忍にん体操の活動に関する情報も見られると思います。(健康推進課との連携)	健康推進課	下記内容のとおり	

上記の関連項目

ページ	施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	質問・意見	回答担当課	回答	備考
11	(6) 健康づくりの推進	イ 健康づくりに関する知識の普及と実践の促進	(エ) 忍にん体操普及事業の推進	健康推進課		健康推進課	健康の駅長の活動紙である「すこやか便り」については、市が委託している健康の駅長連絡会の事業費で発行されていましたが、平成24年度より活動紙の発行から地域での健康づくり事業に活用できる健康器具の購入費用などに移行しています。	P15関連

ページ	施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	質問・意見	回答担当課	回答	備考
19	(1) 地域上の教育力	オ 親子で参加できる体験活動の推進	(ア) 親子で参加できる講座・教室、イベントの開催	こども未来課 保育幼稚園課	<b>質問・意見9</b> 「いがっこ通信」とても楽しみに拝見しています。H26までの様式がすごく見易かったように思います。伊賀市の生涯学習課だけでなく県の生涯学習の取り組みも年間予定を出して戴きたい。仕事の都合上二ヶ月前にシフトが組まれるので予定を早く知りたい。(年間どういう活動が有るか、開催日だけでも分かれば)チャレンジ教室はどんどん参加させて、自然とふれあい、人とふれあい、色々な体験を子ども達にさせたいと思います。親子料理教室だけでなく、編み物やちぎり絵教室も取り入れていただければ・・	こども未来課	子育て(包括)支援センターでは、未就学児を対象にした事業を実施しています。年度当初には事業の年間予定表を配布しています。また今年度より、上野南公園で子育て相談広場「にんにんパーク」を毎月第2、第4日曜日に開設し、休日に子育て相談ができる場を提供しています。	
19	(1) 地域上の教育力	オ 親子で参加できる体験活動の推進	(イ) 子どもセンター情報誌の発行	生涯学習課		生涯学習課	県の情報については、別途情報紙(三重のまなび通信)が発行されています。生涯学習センターにも常時備え付けてありますのでご確認ください。いがっこ通信については、今後も継続していく方向ですが、予算も縮減されてきておりますので、運営体制の見直しについて検討したいと考えます。	

上記の関連項目

ページ	施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	質問・意見	回答担当課	回答	備考
19	(1) 地域上の教育力の向上	カ 地域をフィールドとした体験学習・体験活動の推進	(ア) チャレンジ教室の実施	生涯学習課	チャレンジ教室はどんどん参加させて、自然とふれあい、人とふれあい、色々な体験を子ども達にさせたいと思います。親子料理教室だけでなく、編み物やちぎり絵教室も取り入れていただければ・・	生涯学習課	上野公民館ではくみひも体験等、いがまち公民館では、作法・工作・体操・パン作り等、島ヶ原公民館では、行灯作り・和菓子作り等、阿山公民館では、木工・カヌー・そば打ち・ちぎり絵・おやつ作り等、大山田公民館では、オオサンショウウオ観察等、青山公民館では田植え・稲刈り等、各地区公民館で様々な体験内容を取り入れ充実させていきます。	P19関連

ページ	施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	質問・意見	回答担当課	回答	備考
26	(6) 安全に対する意識の向上	ア 防災意識の向上	(ア)防災マップの見直し (イ)防災ハザードマップの作成 (ウ)地域防災講演会の開催	総合危機管理課	<b>質問・意見10</b> 幼稚園・保育所(園)、小学校における毎月の防災訓練は防災意識を高めるのにとっても良いと思います。毎月の訓練以外に身近にある物で防災用品を作ってみよう!見てみよう!やってみよう!と。・新聞紙でこんな事できるよ、やってみよう、作ってみよう・空ペットボトルでこんな事できるよ、やってみよう、作ってみよう・ビニール袋で、アルミホイルとダンボールでこんな事できるよ、やってみよう、作ってみよう……等 誰にでも出来て誰もががあると嬉しく、幼いこども達は、遊び感覚で出来ると、楽しく、僕にも私にも出来たと思える物を、教師が消防局員や消防コーディネーターなどと連携して作ってみてはどうでしょうか。近く起こるかもしれない震災や火事に備えて。	総合危機管理課	保育幼稚園課や教育委員会と連携し、防災意識の向上に取り組んでいきます。	

上記の関連項目

ページ	施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	質問・意見	回答担当課	回答	備考
26	(6) 安全に対する意識の向上	イ 防災教育の推進	(ア)防災ビデオの貸出し (イ)防災訓練の実施(ウ)防災ポスターコンクールの開催 (エ)幼年消防クラブの育成 (オ)救命講習推進事業の推進	総合危機管理課		総合危機管理課	上記回答と同様	P26関連
				予防課		予防課	市内の小・中学校を対象にした防火ポスターや防火習字の募集あるいは、幼稚園児や保育園児による市民夏のにぎわいフェスタ等でのダンスや防火の誓いの披露により、若い世代の方に防災に関する関心を高めていただけるように努めています。 また小学校4年生から6年生までの少年・少女で結成している少年消防クラブの方に、夏休みに体験学習として三重県消防学校で、ロープ結索訓練や放水訓練等を体験していただき防災意識の向上に努めています。 近く起きるかもしれない震災や火事に備えて、市内の小・中学校並びに保育園・保育所に定期的に避難訓練・消火訓練等の指導を行っています。	P26関連
				消防救急課		消防救急課	消防職員による指導に加え、伊賀市消防団女性部部長以下団員の協力を得て、市内の保育所等へ出向し寸劇、防災ダック、〇×クイズ等子供たちに判りやすい内容に工夫して指導を行っています。また、地域の訓練指導にも出向しAEDなどを使用した救急講習やダンボールを使った災害用簡易トイレ、応急卓上コンロなどの作り方などを協力、連携しながら指導しています。	P26関連

【資料】伊賀市生涯学習推進大綱後期基本計画 平成28年度計画に関する質問・意見一覧表

ページ	施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	質問・意見	回答担当課	回答	備考
38	(4) 学べるしくみづくりでも	イ 柔軟な学習の場の設定	柔軟な学習の場の設定	生涯学習課	<b>質問・意見11</b> 県の出前講座の案内情報もドンドン発信教えてほしいです。	生涯学習課	県の出前講座の情報については、県のホームページでご覧いただけますが、各地区公民館・分館でも情報提供できるよう検討したいと考えます。	

ページ	施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	質問・意見	回答担当課	回答	備考
5	(3) 得知識・向上・教養の習	イ 公民館講座・教室などの充実	(カ)手話通訳者・要約筆記奉仕員の派遣	障がい福祉課	<b>質問・意見12</b> 27年度自課評価がE(取り組みができなかった)であり、【改善点】「派遣依頼に沿える様、派遣人材の確保に努めます。」となっているが、これではどのように人材確保をしていくのか？具体的な改善策が提示されていない。例えば、今までは、市の方に登録している要約筆記奉仕員にしか派遣依頼をしていなかったのを、派遣依頼が多くあれば、県や名張市さんに伊賀市の人で登録している方を新たに探すなどの具体的な【改善点】を示してはどうでしょうか。	障がい福祉課	全ての派遣依頼にそえるよう、三重県や他市へ連携協力を求めるとともに、毎年開催される伊賀市・名張市共催の手話奉仕員養成講座の修了生から新たな派遣登録者の確保に努めます。	

ページ	施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	質問・意見	回答担当課	回答	備考
26	(6) 安全の向上に対する意識	ア 防災意識の向上	(ウ)地域防災講演会の開催	総合危機管理課	<b>質問・意見13</b> 27年度自課評価がE(取り組みができなかった)である。事業内容が「地域防災講演会の開催」であり、目標値に比べて、なぜ開催ができなかったのか？その【改善点】として、出前講座を今後開催して、開催回数を増やすことで、自課評価を高めたいのか？よくわかりません。	総合危機管理課	平成24年度から平成27年度まで、出前講座(HUG)を41回開催しました。昨年度は出前講座の啓発力が弱かったためか地域からのご相談も少なく、実績も目標をした回ってしまいました。昨年度より出前講座の啓発を工夫し、実績を増やすとともに防災講演も行い、一層の防災意識の向上を目指します。	